

交換留学のすすめ

Student Guide to Study Abroad

2025

(2025年4月改定)

三重大学 国際戦略チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

ryugaku@ab.mie-u.ac.jp 059-231-9711

交換留学のHPへ





目次

1. 交換留学とは.....	3
1) 交換留学とは何か	
2) 交換留学の意義と本学の現状紹介	
2. 交換留学を思い立ったら.....	5
1) 交換留学プログラムの流れ	
2) 交換留学に興味を持ったら	
3. 交換留学への応募.....	8
1) 応募から学内選抜・派遣決定まで	
2) 留学先大学への申請手続きと出発準備	
4. 英語能力テストについて.....	12
1) 英語能力テストについて	
2) その他の語学能力試験	
5. 経済手段の確保と見通しについて.....	15
6. 本学で現在実施している学生交流活動について.....	16
7. 交換留学Q&A.....	17

1. 交換留学とは

1) 交換留学とは何か

交換留学とは、三重大学が学生交流協定を結んでいる大学に1年以内の期間で、交換留学生として派遣される留学を指します。

3大メリット

協定大学の入学料と授業料は原則として免除されます

派遣期間中は三重大学に授業料を支払う必要がありますが、免除された場合は相手大学に支払う必要はありません。



三重大学の単位も取得できます

相手大学で取得した単位は本学の認定により三重大学の単位に互換される場合があります。



留年することなく卒業/修了することが可能です

派遣期間中も三重大学の在籍期間として認められるため、所定の単位を取ることができれば留年せず卒業/修了することが可能です。



交換留学生として選ばれるためには、三重大学学内選考を通過する必要があります。つまり、派遣先大学での審査は基本的にはありません。ただし、派遣先大学によっては、専門的な授業を受けるための語学能力などについては、一定の条件が定められている場合もありますので、十分留意してください。また、交換留学生には、奨学金の申請資格付与など様々な経済的なメリットもあります。



主な交換留学先

2) 交換留学の意義と本学の現状紹介

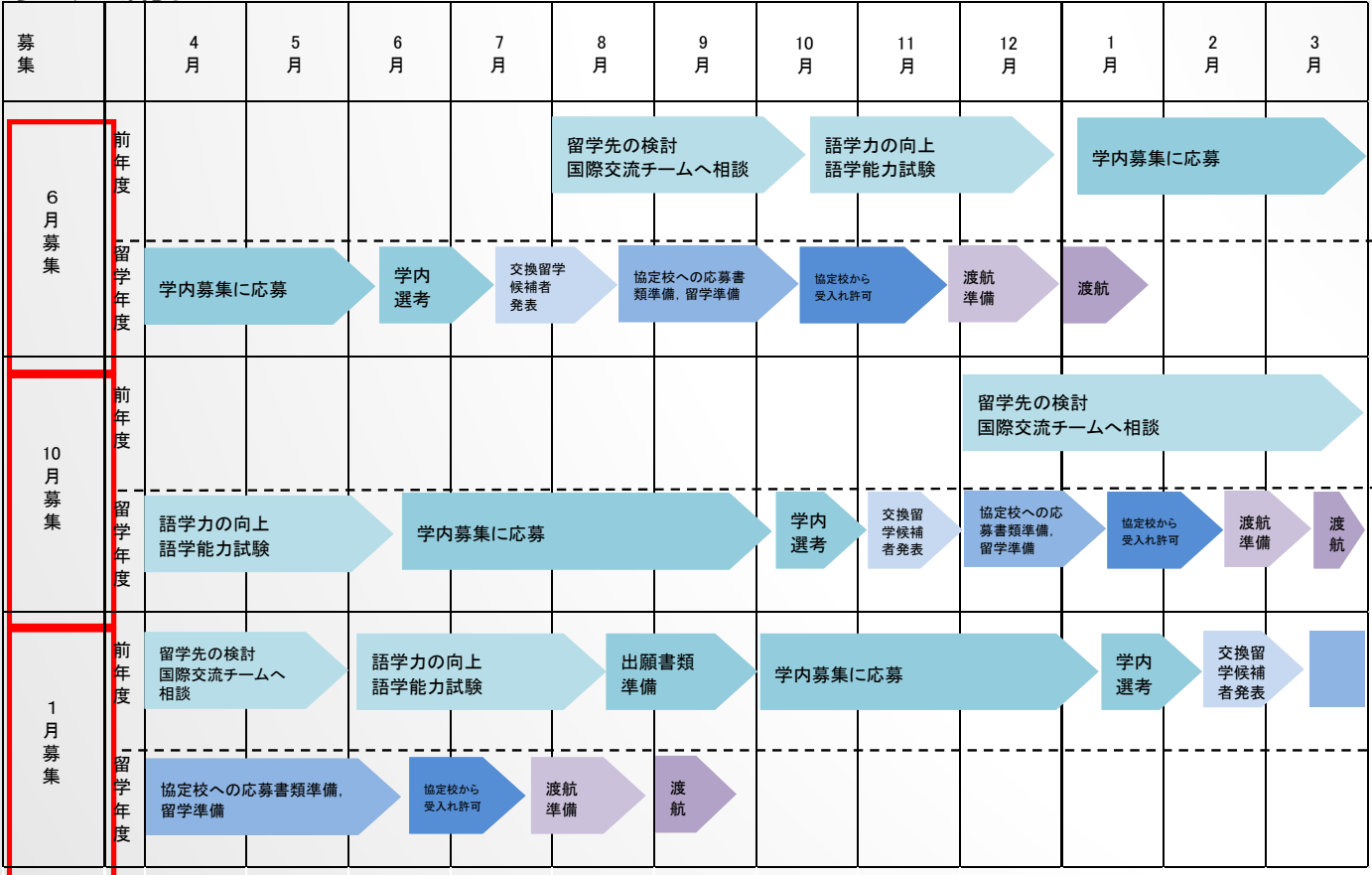
交換留学は、渡航先の大学での勉学のほか、大学寮での生活や周囲の人々との幅広い交流によってその国の文化等に関する理解を深めるとともに、日本人としての自覚を高め、国際社会の中で主体的に活動していける資質を養うなど、学生生活を送っていくうえで重要な意義を持つものです。

主な派遣先（国名）
ハイデルベルク大学（ドイツ）
セントラル・ランカシャー大学（英国）
リール大学（フランス） ※人文学部との学修関連協定に基づく
タスマニア大学（オーストラリア）
ジャウメプリメル大学（スペイン）
サボア・モンブラン大学（フランス）
ノースカロライナ大学ウィルミントン校（アメリカ）
ルール大学ボーフム（ドイツ）
東国大学校（韓国）
ホーチミン市師範大学（ベトナム）



2. 交換留学を思い立ったら

1) 交換留学プログラムの流れ



※上の表は一般的なスケジュールになります。協定校への出願時期、渡航時期は、大学によって異なるため、どの時期の募集に応募すればいいかについては国際戦略チームへお尋ねください。

※対面での相談を希望される場合は事前にメールでご連絡いただくことをお勧めします。留学相談、願書提出等は対面の他、電話、メール、郵送でも受け付けます。

電話：059-231-9711 E-MAIL: ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

住所：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学 企画総務部 国際戦略チーム 留学生担当





2. 交換留学を思い立ったら

1) 交換留学プログラムの流れ

交換留学を思い立っても、すぐに、実現するほど簡単なものではありません。いくつかの条件と資格を満たしていることが要求されます。

交換留学に必ず必要な3条件

学力及び学歴

原則、三重大大学の正規生として留学開始時点で1年以上在籍していることが応募条件となります。

その他交換留学先の大学で要求されている学力及び学歴等の条件は、十分満たしているか。国は異なっても、受入可能な学生の判断基準は、どこの大学にも存在します。各大学のホームページまたは、国際交流チーム等で確認しましょう。

語学力

交換留学先の大学で要求されている語学力の条件は、十分満たしているか。語学の向上だけでなく、専門的な知識を海外で身に付けるためには、交換留学前の語学能力の向上は必須条件です。

※p.19を参照してください。その他、希望する大学については、事前に必ず国際戦略チームへお問い合わせください。

経済力

交換留学先の大学で学業に専念するための経済的な条件は、十分満たしているか。主な必要経費として、往復旅費、海外旅行保険費用、その他学校関係の諸経費、部屋代、食費、本・文房具代、医療費その他の雑費があります。*

※[p.15「三重大大学国際交流特別奨学金」](#)も併せてご覧ください。

* 派遣先の国によっても違いますが、月額10万円程度が必要経費の目安です。
また一部の大学では、附属の語学学校に事前に通う場合、授業料などが別途必要になります。



2. 交換留学を思い立ったら

2) 交換留学に興味を持ったら



～情報収集をしましょう～

- **一般的な留学情報**や希望する国・地域の情報を収集

【参考】

- ・日本学生支援機構 海外留学支援サイト

<http://ryugaku.jasso.go.jp/>

- ・外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

- **相手先大学**の情報を収集

【参考】

一部の協定校については、パンフレットが総合研究棟Ⅱ2階 国際戦略チーム事務室においてあります。

- **奨学金情報**等の収集

本紙

[p.15](#)参照



～相談しましょう～

- **家族**に相談

留学資金、留学後や卒業後の進路など

- **担当教員**の先生に相談

留学先での授業、単位、卒業の時期について

- **国際戦略チーム**に相談

【場所】： 総合研究棟Ⅱ 2階

【窓口時間】： 月～金（祝日を除く）
8:30～17:15

【TEL】： 059-231-9711（直）又は
内線9711

【FAX】： 059-231-5692

【Email】： ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

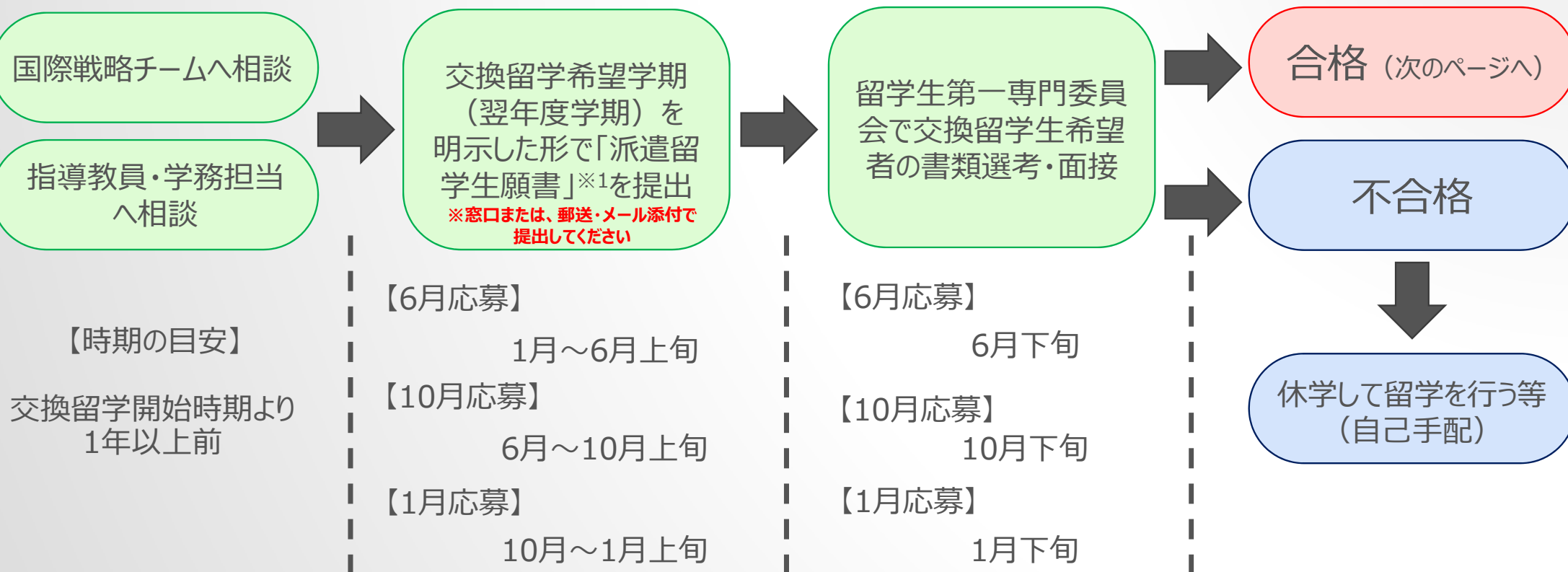
※留学相談は対面の他、メールまたは電話でも受け付けます。

※対面での相談を希望される場合は事前にメールでご連絡いただくことをお勧めします。



3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選抜・派遣決定まで



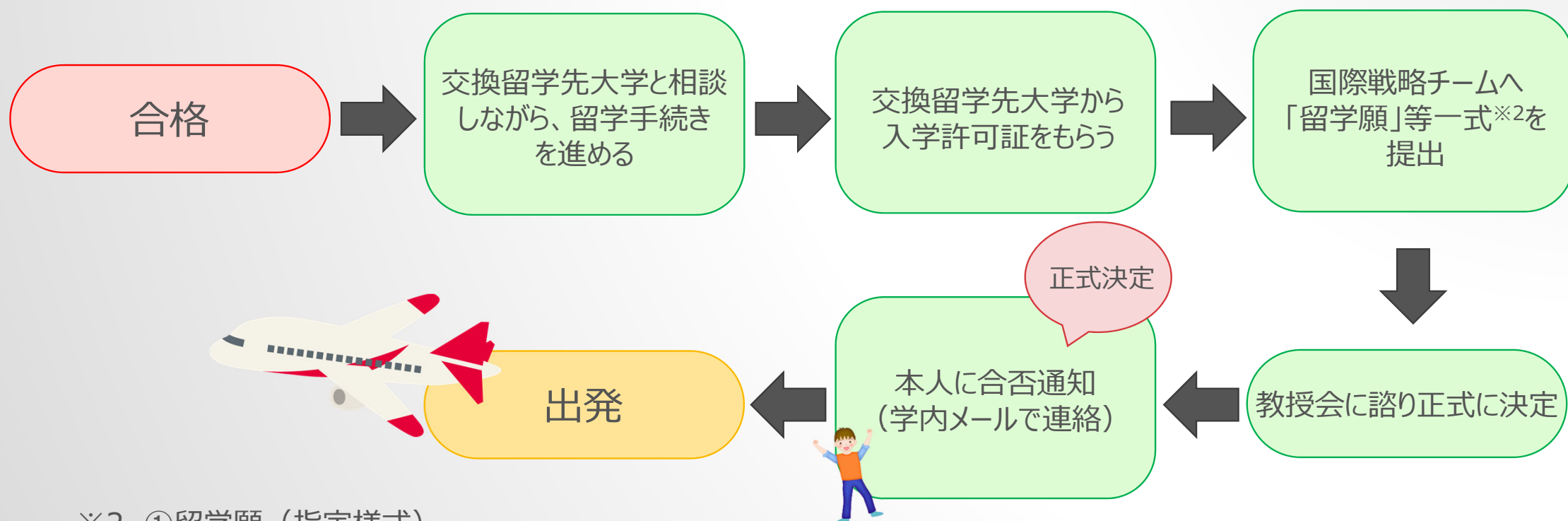
- ※1 ①交換留学生願書（写真貼付） ②成績通知書（写し）又は、成績証明書
③語学能力を示す書類（写し）：Travel Career（生協）で入学時に受けたTOEICスコアの再発行可能
④三重大学国際交流特別奨学金申請書（希望者のみ）：[P.15参照](#) ⑤同意書





3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選抜・派遣決定まで



※2 ①留学願（指定様式）
②協定校からの入学許可書（写し）
③パスポート（写し）



3. 交換留学への応募

1) 応募から学内選抜・派遣決定まで

交換留学（派遣）年間スケジュール
（2025年度）

	6月選考	10月選考	1月選考
募集開始日	2025年5月1日（木）	2025年9月1日（月）	2025年12月1日（月）
書類締切日時	2025年5月30日（金） 16:00まで	2025年10月3日（金） 16:00まで	2026年1月9日（金） 16:00まで
面接選考日時	2025年6月26日（木）	2025年10月23日（木）	2026年1月22日（木）
可否発表日	2025年7月下旬	2025年11月下旬	2026年2月下旬
協定校への ノミネーション 締め切り	2025年8月以降	2025年12月以降	2026年3月以降
留学開始時期	2025年10月以降	2026年1月以降	2026年6月以降
主な対象校	・ヨーロッパ（ドイツ、スペイン、スウェーデンなど）後期（3月～7月） ・イギリス後期（1月～5月） ・韓国前期（3月～6月） ・台湾後期（2月～6月） ・オーストラリア前期（2月～6月） ・アメリカ後期（1月～5月）	・アジア（インドネシア、中国など）、ヨーロッパ（ドイツ、フランスなど）一部大学	・アメリカ、ヨーロッパ（イギリス、ドイツ、スペイン、スウェーデンなど）、台湾前期（9月～1月） ・韓国後期（9月～12月） ・オーストラリア後期（7月～12月）

※上記スケジュールは変更となることがあります。最新の情報は国際戦略チームまでお問い合わせください。

※協定校により、1年間の留学は前期開始のみ出願可能な場合がありますのでご注意ください。

※語学力について、原則として学内選考時までに出願基準スコアを取得していることとしていますが取得できていない場合も学内選考に申し込むことは可能です。ただし、ノミネーション締め切りまでに取得できなかった場合は学内選考の合格が取り消されます。

*①、④、⑤は国際戦略機構ホームページからダウンロードしてください。<http://www.mie-u.ac.jp/international/studyabroad/overseasstudy/exchange-program.html>

～募集要項～



【応募資格】

- ①三重大大学の正規生（学部・大学院）として留学開始時点で1年以上在籍していること
- ②留学期間が1学期以上で概ね1年間以内であること
- ③協定校が要求する語学能力を満たすもの

【応募締切】

左表の募集期間中

【出願書類】*

- ①交換留学生願書（写真貼付）
- ②成績通知書（写し）もしくは成績証明書
- ③語学能力を示す書類（写し）
（TOEIC, TOEFL, IELTS等のスコア表）
- ④三重大大学国際交流特別奨学金申請書
（希望者のみ） ※[P.15参照](#)
- ⑤同意書

窓口または郵送・メール添付で提出を受け付けます





3. 交換留学への応募

2) 留学先大学への申請手続きと出発準備

① 協定校への申請手続き

原則国際戦略チームを通して協定校へ申請書類を提出し、受入れ可否の照会を行います。

② 出発準備

- パスポート取得（発行には時間を要するため、余裕を持って準備すること）
- ビザ申請
- 海外旅行保険の加入
- 航空券の予約
- 住まいの準備（協定校によっては、学生寮への入居が可能です。）
- 留学願等一式を国際戦略チームへ提出
- 海外渡航届を所属の学部・研究科の学務担当へ提出
- 予防接種（※渡航先による）
- たびレジ登録 (<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)
- （現地到着後）在留届を提出（3か月以上滞在する場合のみ） <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>



海外旅行保険には必ず加入を！



留学先で事故・事件に巻き込まれないとは限りません。

海外で入院・手術等が必要となった場合には、医療費が非常に高額になることもあります。

このため、留学前に必ず**大学の指定する**海外旅行保険に加入してください。

海外旅行保険特約が付いているクレジットカードや、派遣先大学が加入を義務付けている保険もありますが、補償内容が充分でない場合が多いので、留学前に充実した保険に加入しましょう。



4. 留学に必要な語学検定試験の案内

1) 英語能力テストについて

英語圏の国に留学する場合、多くの大学で入学資格として認められている語学能力の指標がTOEFLやIELTSです。交換留学を希望する場合も、これらの語学試験をあらかじめ受験している必要があります。

TOEFL

TOEFLテスト (Test of English as a Foreign Language) は、1964年に英語を母国語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストとして、米国非営利教育団体である Educational Testing Service(ETS)により開発されました。大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定します。

※参照URL : <http://www.ets.org/toefl>

受験会場 : 全国各地、東海では静岡、愛知、三重

受験料 : 受験日の8日前まで : 245USドル

受験日の2日前まで (オンライン)

受験日の前営業日17時まで (電話) : 285USドル

申込済みのテスト日やテスト会場の変更 : 60USドル

※ 会場は随時追加・変更があります。全会場で全日程のテストが実施されるとは限りません。最新の情報は各自公式HP等でご確認ください。



4. 留学に必要な語学検定試験の案内

1) 英語能力テストについて

英語圏の国に留学する場合、多くの大学で入学資格として認められている語学能力の指標がTOEFLやIELTSです。交換留学を希望する場合も、これらの語学試験をあらかじめ受験している必要があります。

IELTS

International English Language Testing System (IELTS: アイエルツ) とは、海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある方に最適なテストです。アイエルツ (IELTS) は、英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほとんどの高等教育機関で認められています。米国でも TOEFL に代わる試験として、入学審査の際に採用する教育機関が増えています。

※参照URL: <http://www.britishcouncil.org/jp/japan-exams-ielts.htm>

受験会場: 東京、横浜、札幌、仙台、埼玉、大阪、名古屋、神戸、京都、
広島、岡山、福岡、金沢、他

受験料: 25,380円 (消費税8%込み)

※ スピーキングテストは、東京・大阪では通常筆記テストの翌日に実施されますが、1dayと書かれた東京・大阪の会場では筆記テストと同日に実施されます。東京・大阪以外の試験会場では全て同日に実施されます。なお、スピーキングテストの時間・日程は指定できません。

最新の情報は各自公式HP等でご確認ください。

参考: 公益財団法人 日本英語検定協会
<http://www.eiken.or.jp/ielts/schedule/>



4. 留学に必要な語学検定試験の案内

2) その他の語学能力試験

中国語検定



中国・台湾の大学への留学希望者は、中国語検定試験 4 級もしくは 3 級を取得することをお勧めします。一部の大学では、語学基準が設けられています。また、台湾への留学の場合、中国語能力試験もあり「進階級LEVEL 3」取得を勧めます。

いずれも留学中に現地でも受験することができます。

- ・一般財団法人日本中国語検定協会
- ・中国国家教育部 H.S.K (漢語水平考試)
- ・漢語水平考試日本実施委員会
- ・(台湾の場合) 台湾教育部公認・華語測驗推動工作委員會 (華語測驗TOCFL)

<http://www.chuken.gr.jp/>

<http://www.hsk.chuken.org/about.php>

<http://www.hskj.jp>

<http://www.sc-top.org.tw>

ドイツ語技能検定試験



夏 (6月) と冬 (12月) の2回行われ、夏は2級から5級、冬は1級から5級までの試験です。

※参考 : <http://www.dokken.or.jp/>

実用フランス語技能検定試験



5級から1級までの7段階の試験で、6月と11月に行われます。

※参考 : <http://apefdapf.org/>





5. 経済手段の確保と見通しについて

～三重大学国際交流特別奨学生制度～

【対象学生】 本学学生交流協定校へ1学期以上、交換留学する学生

【奨学金額】 15万円

【奨学生数】 年間20名以内

【申請方法】 学内選考の出願時に申し出てください

三重大学国際交流特別奨学生制度・語学検定試験基準点（言語別）

別紙 1

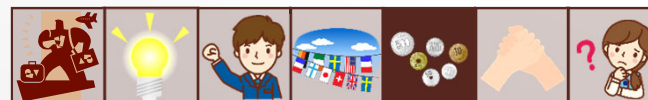
言語	語学検定試験名	スコア	評価
英語	TOEIC (IPテストでも可)	470	日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる。通常会話であれば、要点を理解し、応答にも支障はない。
	TOEFL iBT		日常会話レベルの設定なし。
	IELTS	4	限定的ユーザー。慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。
中国語	日本中国語検定	4級	中国語の基礎をマスター。平易な中国語を聞き、話すことができること。
韓国語	韓国語能力試験	2級 (初級試験)	電話やお願い程度の日常生活に必要な言語や、郵便局、銀行などの公共機関での会話ができる。
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	4級	基礎的なドイツ語を理解し、初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。
フランス語	実用フランス語技能検定試験	4級	日常のフランス語。基礎的な日常的フランス語を理解し、読み、聞き、書くことができる。
スペイン語	スペイン語技能検定試験	4級 (中級)	簡単な日常会話ができ、文法を一通り終了。

※スコアの有効期限については問わない。

※その他奨学金情報

・ 日本学生支援機構 海外留学支援サイト

<http://ryugaku.jasso.go.jp/>



6. 本学で現在実施している学生交流活動について

海外語学研修

三重大学では、語学研修を海外の交流協定大学等と提携して実施しています。2019年度に実施された海外語学研修は以下の通りです。この他、共通教育機構、人文学部、教育学部等の学部・研究科単位で実施する語学研修もあります。

・タチ大学春期英語研修（マレーシア）（2月中旬～3月中旬、3週間）

実施する場合は国際交流HPに募集情報を掲載します。

※参考：<http://www.mie-u.ac.jp/international/index.html>

Tri-U国際ジョイントセミナー＆シンポジウム

本学の他、協定校であるチェンマイ大学（タイ）、江蘇大学、廣西大学（中国）とインドネシアのボゴール農家大学（2011～）が毎年輪番でホスト大学となり実施しています。学部生・大学院生に国際学会での発表の機会を提供し、研究発表を通じての国際感覚を有する人材育成ならびに本シンポジウム参加者との友好推進と相互理解を深めています。 ※参考：<http://www.mie-u.ac.jp/international/international/business/program/tri-u.html>

海外フィールドスタディ

ベトナム ホーチミン市師範大学への約10日間のフィールドスタディを2月後半に実施するなど、ベトナム他の協定大学と連携して短期のフィールドスタディプログラムを実施しています。





7. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q 1. 交換留学先は、どのように決めたらよいのでしょうか？

A 1. 交換留学先は、自分で自由に決めることができます。この「留学のすすめ」の大学間・学部間交流協定校の一覧表に掲載されている大学から、自分の希望する大学を選んで留学することが可能です。ただし、希望する交換留学先大学に入学するための語学能力をクリアできているのか、そこで何を学ぶのか、自分の専攻に即した学習が出来る大学なのか、さまざまな面での検討が必要です。

Q 2. 交換留学と休学して留学する形態の違いは何ですか？

A 2. 交換留学とは、あなた方が、所属する学部で留学願を提出し、教授会等において認められるもので、最高 1 年間の範囲内で三重大に学籍を置いた状態で外国の大学で勉学に励む履修形態のことを指します。三重大に学籍がある以上、その留学期間中も学年は進行していきますので、卒業のために必要な取得単位数などを考慮して留学計画を組めば、正規の標準年限で卒業することが可能です。

一方、休学の場合には、指導教員の承認を得た上で、所属する学部で休学願を提出し、教授会等において認められるもので、こちらの方は、三重大に授業料を納める必要はありません。ただし、この場合は留学先の大学で授業料等を納めなければなりません。また、休学中は、学年は進行しないため、留学期間が卒業に必要な正規の標準年限内に算入されることはありません。



7. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q 3. 学生交流協定校と一般交流協定校との違いは何ですか？

回答 (A)

A 3. 学生交流協定校への短期留学とは、三重大学の学生が、外国の交流協定校に交換留学する際に、最高 1 年間、非正規生の身分で、授業料を先方の大学に納めることなく留学し、しかるべき学習成果をあげて帰国してきた際には、所属学部の単位として認定される制度です。大学間交流協定の場合には、すべての学部の学生が対象となるのに対し、学部間交流協定の場合には、協定を結んでいる対象の学部の学生のみ適用されるので、注意が必要です。

なお、いずれの場合にも、三重大学には留学期間中の授業料を納めておく必要があります。

一方、一般交流協定校への短期留学の場合には、該当する外国の大学に三重大学の学生が交換留学する際に、両大学との間に授業料相互不徴収の覚書は結ばれておりませんが、それ以外の便宜供与が交流計画に基づき行われることになっております。

従って、交換留学の期間中、両大学には二重に授業料を納めなければなりません。また、こちらの方も同様に、大学間交流協定校と学部間交流協定校との間の適用対象者の違いに注意が必要です。



7. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q 4. 交換留学したいのですが、4年間で卒業できますか？

回答 (A)

A 4. 三重大学では、他の大学で履修した授業の単位を60単位まで認めています。これは、交換留学の場合にも準用されます。この単位互換制度を最大限利用すれば、4年間で卒業することは可能です。

しかし、実際には、以下の2つの理由によりどうしても半年から1年は遅れてしまうこともあります。

1つ目は、交換留学先大学と三重大学との授業日程の違いです。大多数の国々の大学では5～7月に学期が終了するため、仮に1年間留学した場合、帰国するのはその時期になってしまい、その年の半期の必修科目を取りこぼしたり、論文作成に十分な時間が取れず、結果として遅れることがあるからです。

2つ目は、本学で学ぶべき専門科目の内容と交換留学先大学で学ぶことができる科目の内容が必ずしも一致しないために、仮に交換留学先大学で単位を修得してきたとしても、それが本学におけるカリキュラム上の授業科目の単位として認められない場合があるということです。帰国してからの授業の履修に関することは、渡航前に指導教員や学部・研究科の学務担当とよく相談しておく必要があります。

また、就職活動など個人的な将来設計に関わる都合で卒業が遅れる場合もあります。



7. 交換留学Q&A

質問 (Q)

Q 5. 単位の互換はどうなりますか？

回答 (A)

A 5. 単位の互換制度を利用する場合は、まず、交換留学中に履修した科目名、時間数、成績を交換留学先大学から、正式な成績証明書として交付してもらいます。成績証明書とともに科目内容に関して記載されたシラバスや提出したレポートなどの資料も必要になります。それらに基づいて、三重大大学の所属学部の教授会が、三重大大学で本人が適用されているカリキュラムのどの授業科目の単位数分の学修効果に相当するかを判断し、互換を認めるという形が一般的ですが、学部によって事情が異なるので、個別に各学部の学務担当に確認をとってください。

なお、交換留学する前に交換留学先大学のシラバスを入手し、どの科目を履修するのか、その科目が三重大大学のどの科目に相当するのかを、指導教員や学部の学務担当と事前に相談してから行ったほうが、互換がスムーズに行くでしょう。また、帰国後に途中から履修ができる科目について確認しておくことが必要です。渡航中も国際戦略チーム及び学部の学務担当と定期的に連絡をとっておいた方がよいでしょう。